

牧監第47号
令和7年8月20日

牧之原市長 杉本 基久雄 様

牧之原市監査委員 飯塚 貴穂
同 植田 博巳

令和6年度牧之原市水道事業会計決算の審査意見書について（提出）

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、審査に付された令和6年度牧之原市水道事業会計の決算及び附属書類について、牧之原市監査基準（令和2年牧之原市監査委員訓令第1号）に基づいて審査したので、次のとおり意見書を提出します。

令和6年度

牧之原市水道事業会計決算審査意見書

牧之原市監査委員

令和6年度 牧之原市水道事業会計決算審査意見

第1 審査の種類

決算審査（地方公営企業法第30条第2項）

第2 審査の対象

令和6年度牧之原市水道事業会計歳入歳出決算

第3 審査の着眼点

決算その他関係諸表等の計数の正確性を検証するとともに、予算の執行又は事業の経営が、適正かつ効率的に行われているか。

第4 審査の主な実施内容

審査に当たっては、水道事業会計の決算書、財務諸表及びこれらに関する附属書類（地方公営企業法第30条第9項の書類）について、関係法令に準拠して作成され、その会計処理が適正に行われているかを関係諸表等と照合し計数の確認を行った。

また、財政状況及び予算の執行状況については、関係職員から説明を聴取し、審査の着眼点に基づき審査を実施した。

第5 審査の実施場所及び日程

牧之原市役所 榛原庁舎5階庁議室

令和7年7月22日（火）

第6 審査の結果

審査に付された令和6年度決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数及び会計処理は正確であり、令和6年度の財政状況及び経営成績を適正に表示しているものと認められた。

審査の意見及び決算の概要は、後述のとおりである。

第7 審査の意見

収益的収入の大部分を占める給水収益は、主に一般用の使用水量の減少により、前年比2.14%の減となった。一方、収益的支出の総額は、人件費等の増加により前年比1.96%の増となった。その結果、収益的收支は13,726千円の純損失となり、昨年度の純損失3,372千円に比べ、10,353千円の増となった。

今後、サービスの提供に必要な施設等の老朽化に伴う更新投資の増大や、人口減少に伴う料金収入の減少等により経営環境は更に厳しさを増しつつある。こうした変化に適切に対応するため、人口増加・流入施策による新規顧客の獲得や水道料金

の改定など、そのあり方について検討を行うとともに、経営経費の削減に努められたい。また、年々管路の老朽化も進んでいくことから、将来に向けた計画的な施設更新を行い、安全で安心な水道水の安定供給に取り組まれたい。

第8 決算の概要

1 予算の執行状況

(1) 収益的収支の状況

収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 水道事業収益	1,019,130,000	995,909,832	△23,220,168
第1項 営業収益	973,029,000	923,868,397	△49,160,603
第2項 営業外収益	46,091,000	48,610,611	2,519,611
第3項 特別利益	10,000	23,430,824	23,420,824

支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
第1款 水道事業費用	1,015,977,000	1,003,696,767	12,280,233
第1項 営業費用	985,941,000	952,667,626	26,406,374
第2項 営業外費用	28,036,000	34,891,399	11,601
第3項 特別損失	0	16,137,742	△16,137,742
第4項 予備費	2,000,000	0	2,000,000

収益的収支の状況（税込み）は、水道事業収益 995,909 千円、水道事業費用 1,003,696 千円で、税抜き後の損益は、損益計算書のとおり 13,726 千円の純損失となった。

水道事業収益の主なものは給水収益で、水道事業費用の主なものは原水費と減価償却費などである。

(2) 資本的収支の状況

収 入

(単位：円)

区分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
第1款 資本的収入	103,276,000	92,814,943	△10,461,057
第1項 企業債	40,000,000	30,000,000	△10,000,000
第2項 国県補助金	4,950,000	3,564,140	△1,385,860
第3項 工事負担金	10,000	0	△10,000
第4項 長期貸付金償還金	0	0	0
第5項 固定資産売却収入	50,000,000	53,706,803	3,706,803
第6項 その他資本的収入	8,316,000	5,544,000	△2,772,000

支 出

(単位：円)

区分	予 算 額	決 算 額	翌年 度額	不 用 額
第1款 資本的支出	311,803,000	263,342,895	0	48,460,105
第1項 建設改良費	178,361,000	135,210,112	0	43,150,888
第2項 企業債償還金	122,115,000	122,014,833	0	100,167
第3項 その他資本的支出	11,327,000	6,117,950	0	5,209,050

資本的収入及び支出（税込み）は、資本的収入 92,814 千円、資本的支出 263,342 千円で、資本的収支差引不足額 170,527 千円は、過年度分損益勘定留保資金 165,389 千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 5,138 千円で補てんした。

資本的収入の主なものは、固定資産売却収入、企業債で、資本的支出の主なものは、建設改良費、企業債償還金である。

主な建設改良工事は、市道波津 48 号線や市道波津 54 号線の配水管布設替工事などである。

なお、令和 6 年度末の企業債未償還残高は、2,165,587 千円で、前年度より 92,014 千円減額となった。

2 業務量

項目	年 度	令和 6 年度	令和 5 年度	比 較	
				増 減	比率(%)
行政区域内人口(人)		41,970	42,758	△788	98.16
給水区域内人口(人)		34,888	35,600	△712	98.00
計画給水人口(人)		44,500	44,500	0	—
現在給水人口(人)		34,853	35,564	△711	98.00
普及率(%)		99.90	99.90	0.00	100.00
給水件数(件)		15,793	16,130	△337	97.91
年間総配水量(m ³)		5,649,877	5,812,024	△162,147	97.21
内 訳	榛南水道(m ³)	3,826,353	4,023,169	△196,816	95.11
	大井川広域水道企業団(m ³)	1,823,524	1,788,855	34,669	101.94
配水能力(m ³ /日)		28,500	28,500	0	—
一日最大配水量(m ³)		16,047	17,444	△1,397	91.99
一日平均配水量(m ³)		15,479	15,923	△444	97.21
有収水量(m ³)		4,394,147	4,492,370	△98,223	97.81
一日一人平均給水量(リッル)		345	345	0	100.08
無収水量(m ³)		282,494	290,601	△8,107	97.21
有効水量(m ³)		4,676,641	4,782,971	△106,330	97.78
有収率(%)		77.77	77.29	0.48	100.62
有効率(%)		82.77	82.29	0.48	100.58
施設利用率(%)		54.31	55.87	△1.56	97.21
最大稼働率(%)		56.31	61.21	△4.90	91.99
負荷率(%)		96.46	91.28	5.18	105.67
給水原価(円)		197.19	192.19	5.00	102.60
供給単価(円)		191.03	190.94	0.09	100.05

令和 6 年度の給水人口は、34,853 人、給水件数 15,793 件、普及率 99.90% である。また、給水原価は 197 円 19 銭、供給単価は 191 円 03 銭であった。

年間総配水量 5,649,877 m³、また有収水量は、4,394,147 m³となつた。有収率は、77.77%、施設利用率 54.31%、最大稼働率 56.31%、負荷率 96.46%となつた。

注記

- 1 千円単位で表示した金額は、原則として千円未満を切り捨てました。
このため差額又は合計金額が一致しない場合があります。
- 2 比率(%)は、原則として小数点以下第3位を四捨五入し表示しました。
このため合計比率が一致しない場合があります。また、決算書等、他の書類と一致しない場合もあります。